

22. 何事もなかったような住宅地

青木裕子 42歳 研究者 武蔵野市在住

- そのとき、どこに誰といましたか。

木造2階建住宅の1階に母と一緒にいて、庭に避難しました。

- どのように揺れましたか。そしてそのときどうしましたか。

横揺れではなく、強い縦揺れをまず感じました。転ぶとか、何かにつかまらなければ立ってられないほどの揺れではありませんでした。揺れの回数については、はっきりとした区切りのある揺れではなかったため、何回というのわかりませんが、しばらく大きく揺れ、少しおさまり、また大きく揺れて落ち着いたという感じでした。ビルではないので、振り子のような揺れではありませんでした。

母と庭に出ましたが、足元が不安定なほど揺れるので、母と互いにつかまっていました。木も揺れ、大きな手水鉢の水が飛び出し、小さな池の水が波立って溢れていました。少し揺れがおさまった時にペットの猫を探しに家の中に戻り、2階の部屋の奥へ行こうとする猫を抱いてまた庭に行きました。揺れ始めてから、家の中に母と猫と戻るまで15分余りだったでしょうか。家に入りテレビをつけました。

地震が収まった後、家の外の通りに出てみましたが、まるで何事もなかったように静かで、自転車が通っていました。この地域では、大きな被害はなかったようです。

- 自宅の被害はありませんでしたか。身内やペットは？

被害はありませんでした。本棚から書類と本が少々落ちたくらいで、何も壊れませんでした。外出していた身内も、ペットも、全員無事でした。

- 最後にひとこと。

どんな時も、落ち着いて行動するように心がけることが大事。知人には、帰宅難民になったり、物が壊れたり、被害にあった人はいたのですが、私は幸運にも当日何の被害も受けず、テレビに映し出される光景を見て驚き恐れただけでした。

2011年7月24日